

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年育成			20年度予算コード	4	整理番号	353	枝番号	
担当部課名	保健福祉部児童青少年課		コード	143900	昨年度 整理番号	372,374,375,378				
係名	青少年係		連絡先 電話番号	4402						
上位施策名		No	28	子どもの育成環境の整備						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	29 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 善い行いをした区内在住、在勤、在学の25歳未満の青少年、及び地域の青少年健全育成団体		(1) 杉並区青少年表彰要領 (2) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱 (3) 杉並区後援名義等使用承認事務取り扱い要領						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	善い行いをした青少年を表彰をする。 青少年健全育成団体に対し補助金及び助成金を支出している。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 善い行いをした青少年及び主にそれらで構成された団体を表彰して区内全体に善意の行為の気運を盛り上げる。 育成委員会が行う事業を通して子ども達が健やかに育つ環境をつくる。						
	活動指標名(式)	(1) 表彰者数 (2) 育成委員数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)区内非行件数 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人・団体	47	100	62	100				
	活動指標(2)	人	907	907	907	921				
	成果指標(1)	件	307	291	268					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	20,100	17,970	18,481	18,256	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.09 0.00	1.00 0.00	0.95 1.80	1.60 0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,875	9,140	8,683	14,624			
		非常勤職員分	千円	0	0	4,986	0			
	総事業費 + +	千円	29,975	27,110	32,150	32,880				
	単位あたりコスト(-)÷	円	637,766	271,100	518,548	328,800				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	29,975	27,110	32,150	32,880				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	表彰式の実施		1	回	1,144					
	青少年育成委員会助成		17	団体	15,300					
	ボーイ・ガールスカウト共催事業		4	回	328					
	その他 ()				1,709					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 353 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	62.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	102.8
		未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーンを実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		また、育成委員会研修と合同で講演会を実施。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっている。また、平成18年度より都立高校で奉仕の時間が授業に取り入れられた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	有害な情報の氾濫や青少年が凶悪な犯罪に巻き込まれる事件の発生など、青少年を取り巻く環境は悪化している。子ども達が安全に健やかに育つ環境づくりを進めていくために、青少年健全育成事業に必要性が高まっている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:各育成団体の事業には多くの参加者があり、子どもが様々な体験をし、社会性を身につける機会になっている。善行の表彰を広く社会に知らせることにより、善意の気運が高まり、子どもが健やかに成長する環境づくりにつながる					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:これまで以上に地域や子どものニーズに的確に対応した事業内容になるよう働きかけ、より多くの子どもが参加できるよう事業の広報などを工夫する					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:育成委員会の活動はボランティアである。また、青少年表彰は区が表彰するものであり、受益者負担になじまない					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:育成事業については、補助金のみを財源として運営するのではなく、参加費を取るなど参加者に応分の負担を求めたり、自主財源の確保に努めるよう働きかける。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の内容や周知方法などを工夫し、より多くの子ども達が参加するようにしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 青少年育成委員会は自主的の団体であり、それぞれの地域ごとに特徴を持っているため、一括対応が難しい。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年の自立応援・社会参加事業 <small>20年度予算コード</small>			5	整理番号	354	枝番号	
担当部課名	児童青少年課	コード	143900		昨年度 整理番号	373,376,377			
係名	青少年係	連絡先 電話番号	4402						
上位施策名		No	28		子どもの育成環境の整備				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	25 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年		根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	青少年を対象にした、自立を支援する講座等を開催する。また、区の青少年施策について意見を述べる。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 「成人祝賀のつどい」実施要綱 (2) ユースプロジェクトすぎなみ設置要綱 (3) 杉並区子ども・子育て行動計画			
	活動指標名(式)	(1) 成人祝賀のつどい出席者数 (2) 自立支援事業開催数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)出席者数/対象者数 (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	2,518	2,413	2,563	2,276			
	活動指標(2)	回	8	8	7	7			
	成果指標(1)	%	44	46	49	50			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	16,388	17,673	14,277	17,535	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数 (常勤 非常勤)	人	2.01 0.00	1.65 0.50	2.31 0.90	2.00 0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,211	15,081	21,113	18,280		
		非常勤職員分	千円	0	1,385	2,493	2,493		
	総事業費 + +	千円	34,599	34,139	37,883	38,308			
	単位あたりコスト(-)÷	円	13,741	14,148	14,781	16,831			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	34,599	34,139	37,883	38,308			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	成人祝賀のつどいの実施		1	回	6,323				
	広報誌「にゅーす」の発行		1	回	266				
	青少年情報誌セドル7号の編集委員会運営・印刷		1	版	2,322				
	ジョブ・スタート支援講座(仕事や将来について考える講座)		3	講座	983				
その他 ()				4,383					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 354 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	106.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	87.5	19年度予算 執行率%	80.8
	前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ニート、フリーターの増加が社会問題となっている。 若年無業者数(15～34歳の非労働力人口) H14 国勢調査 東京都約88,000人 成人祝賀のつどいの対象者は、減少の傾向にある。H10 7,589人 H15 6,061人 H19 5,889人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	
	今後の予測	ニート、フリーターの増加は、経済活動や年金など社会保障制度に影響を及ぼすほか、未婚化、晩婚化、少子化などを一層促進する恐れがあることから、若者の自立支援の必要性がより高まっていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 青少年が自立を促すことは、子どもの健やかな成長につながり、中高校生が区の青少年施策に意見を述べるなど、子ども自身が子どもの育つ環境をよりよくする。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 多くの青少年が事業に参加できるよう、周知方法を工夫する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 経済的な理由で参加ができないなどの青少年をつくらないようにするため受益者負担はなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委託費用の内訳は、講師謝礼等の最低限の費用である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 講座の実施や、情報誌の編集などを委託で実施している。また、成人祝賀のつどいは、式典運営イベントを委託する。	
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業への参加を促したい不登校や引きこもりなどの状態にある青少年の参加は難しい。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター・児童館事業の運営 <small>20年度予算コード</small>			31	整理番号	355	枝番号
担当部課名	保健福祉部児童青少年課		コード	092701	昨年度 整理番号	429の一部		
係名	管理係		連絡先 電話番号	4402				
上位施策名		No	28		子どもの育成環境の整備			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <small>政策番号</small> 2 <small>施策番号</small> <small>事業コード</small> <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	施設運営における事務用経費の執行事務 非常勤職員の採用・報酬の支払い事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸し出し、事故対応(傷害保険等)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・運営に中高生の意見等を反映させる。 ・必要な非常勤職員を適正に配置する。 ・センター及び児童館職員の資質を向上させる。				
	活動指標名(式)	(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一日あたり平均利用者数 = 利用者数 ÷ 開館日数 (2) 職員実技研修参加者数				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%
	活動指標(1)	人	1,421,329	1,430,000	1,412,164	1,430,000	1,430,000	98.8
	活動指標(2)	日	13,822	13,917	13,878	13,917	13,917	99.7
	成果指標(1)	人	103	105	102	105	105	97.1
成果指標(2)	人	495	500	585	590	590	99.2	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	233,661	284,838	259,828	314,065	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0		
	(内) 委託費	千円	21	21	21	21		
	職員数(常勤 非常勤)	人	52.05 21.49	51.25 19.88	29.36 0.50	27.54 0.50	受益者負担は、センター・児童館目的外使用料 学童クラブパート雇用人数推移 18年度 102人 19年度 116人 20年度 114人(4月当初)	
	人件費	千円	471,573	468,425	268,350	251,716		
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	471,573	468,425	268,350	251,716		
	非常勤職員分	千円	60,817	55,068	1,385	1,385		
	総事業費 + +	千円	766,051	808,331	529,563	567,166		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	539	565	375	397		
	財源	受益者負担分	千円	4,584	3,968	4,461	4,490	
国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	4,584	3,968	4,461	4,490		
差引: 一般財源 -		千円	761,467	804,363	525,102	562,676		
受益者負担比率 ÷	%	0.6	0.5	0.8	0.8			
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)			
	パートタイマー報酬		116	人	195,757			
	臨時職員賃金		878	人	34,997			
	運営事務費(消耗品購入、機械器材借上げ等)		49	施設	23,168			
	保険料		49	施設	4,909			
その他 ()				997				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 355 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.7	19年度予算 執行率%	91.2
		実績による残が発生した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		非常勤職員をふくめ職員研修を行う。児童館あんないを作成し、PRにつとめた。非常勤職員の採用に区の広報・HPだけでなく、ハローワークや東京都の社会福祉協議会など多様なメディアで募集を行い、成果があった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。児童館は障害児の利用しやすい環境整備がもためられている。					
	今後の予測	子どもたちの安全な居場所確保の重要性は増す。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由: 今後も学童クラブ入会希望者が継続して増加すると予測されており、パート職員の配置等、予算増が必須であるため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: 目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由: 人件費については、優秀な非常勤職員を確保するため、下げることはできない。運営費については、消耗品費の価格の上昇が見込まれるため、コストを下げると現在の水準を維持できない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やNPOのボランティア、地域の子育て支援グループの協力により実施されている。今後は地域の子どもと子育てを醸成していく観点から、より地域の区民・NPOの参画を進め、協働で児童館を運営していく方向である。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 職員間の技術・知識を共有化し、全体的なスキルアップを図る。 必要な非常勤職員を適切に配置する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 職員研修、マニュアルの整備 区のHP、区報のみならず多様なメディアで求人広報を行う。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 来年度も学童クラブ入会希望者が増加すると予測されており、パートタイマー等非常勤職員の配置増が見込まれるため。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ事業				20年度予算コード	32	整理番号	356	枝番号			
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			コード	092701		昨年度 整理番号	438					
係名	管理係			連絡先 電話番号	4402								
上位施策名		No	28		子どもの育成環境の整備								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(2)	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 児童福祉法第6条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例 (3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		共働き等により保護者が留守となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの特別支援児童				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもたちがともに育つ中で、自らの可能性を發揮し、健やかに成長するよう支援する。 学童クラブを利用している保護者が安心して楽しく子育てができるよう支援する。						
	活動指標名(式)		(1) 入会児童数 (2) 入会障害児童数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入会希望児童の入会率 = 入会児童数 ÷ 入会児童申請数 (2)						
指標	区分	単位	18年度	19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
			実績	計画	実績	計画	22年度						
	活動指標(1)	人	2,763	2,952	2,968	3,159	3,389	87.6					
	活動指標(2)	人	98	114	124	112	142	87.3					
成果指標(1)	%	99.8	100	99.5	100	100	99.5						
成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	68,078	80,886	74,620	89,085	4月1日現在学童クラブ待機児童数 15年度 30人 16年度 28人 17年度 0人 18年度 4人 19年度 14人 学童クラブパート雇用人数 18年度 102人 19年度 116人 20年度 114人(4月当初) 予算は、児童青少年センター・児童館事業の運営に計上					
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	47,931	52,123	47,526	57,087						
	職員数(常勤 非常勤)		人	87.00 15.00	88.00 7.00	82.55 10.00	77.70 12.00						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	788,220	804,320	754,507	710,178						
		非常勤職員分	千円	42,450	19,390	27,700	33,240						
	総事業費 + +		千円	898,748	904,596	856,827	832,503						
	単位あたりコスト(-) ÷		円	325,280	306,435	288,688	263,534						
	財源	受益者負担分		千円	81,605	95,018	86,623					99,699	
		国・都等からの支出金		千円	2,260	2,656	3,341					3,871	
特定財源計 +		千円	83,865	97,674	89,964	103,570							
差引: 一般財源 -		千円	814,883	806,922	766,863	728,933							
受益者負担比率 ÷		%	9.1	10.5	10.1	12.0							
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		学童クラブ委託					2	所	44,446				
		民間学童クラブ運営助成					2	所	10,821				
		おやつ代助成					895	人	15,381				
		その他 ()							3,972				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 356 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	100.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	108.8	19年度予算 執行率%	92.3
	主な執行残 ・学童クラブ運営業務委託料の執行残...約457万円(障害児対象経費の減)					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)	学童クラブの需要増への対応について、特に需要増の著しいクラブに関して、学校内に第二クラブを設置する。 19年11月1日から公立の全学童クラブで、必要な児童の利用時間を、これまでの午後6時から午後6時30分まで延長した。
---	--

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童数について、ほぼ変化がないにも関わらず、学童クラブ入会希望者数及び入会者数は、増加傾向にある。このため、第二学童クラブの設置、施設改修による定員増及び学童クラブ登録制を実施した。入会希望者の多い一部の学童クラブは、施設の規模ぎりぎりの受入状態が続いており、既存の施設を利用した学童クラブの実施が困難になっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保護者からは、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内へ移転して欲しい。職員は子どもたちに丁寧に対応して欲しい。利用時間を延長して欲しいなど、安全・安心面からの要望が多い。
	今後の予測	共働き世帯の増加等により、入会児童数は、今後も増加が見込まれる(22年度には、3,300名を超える見込み)

事業の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にある。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 今後も学童クラブ入会希望者は継続して増加することが予測されており、施設整備、パート職員の配置等の予算増が必須である。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 入会希望者の多い学童クラブから、第二学童クラブの設置及び施設改修を行い、入会可能児童数を増加させる環境作りが必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: コストに見合った利用料のあり方について検討を行い、適正化を図る。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 学童クラブ運営を段階的に社会福祉法人など民間の運営に委ねる。	

協働等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 平成18年度に委託を開始した新泉・松ノ木小両学童クラブの委託の検証結果では、「一定水準以上のサービスの質が確保され、事業者の創意工夫も生かされている」という評価がなされている。	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)		

今後の 事業の あり 方 (中 長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 児童館・学童クラブの過密化を緩和するとともに、学童クラブ入待機児童を解消するため、特に需要増の著しい学童クラブについては、対応小学校の余裕教室に第二学童クラブを設置する等の抜本的な対策を計画的に進める。また、育成料については、この間の育成時間の延長実施や社会状況の変化等を踏まえて、適正な受益者負担となるように見直しを図る。	
2 1 年 度 方 針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 需要増対策が必要な学童クラブでは、対応小学校に余裕教室がない場合が多く、第二学童クラブが設置できない状況となっている。そのため、第二学童クラブ設置にかかわる手段や区有地等への学童クラブ設置など、新たな対応策を検討する必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 需要増対策として、第二学童クラブの設置等による学童クラブの新設(2箇所)及び学童クラブの移設(1箇所)を実施する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童健全育成事業				20年度予算コード	33	整理番号	357	枝番号		
担当部課名	保健福祉部児童青少年課		コード	092705 092709	昨年度 整理番号		431,432,435					
係名	児童館運営係 事業係		連絡先 電話番号	4402								
上位施策名	No	28		子どもの育成環境の整備								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード						
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 18歳未満の児童及び保護者				根拠法令等		(1) 児童福祉法1～7、35、40、45条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区児童青少年センター及び児童館処務規程				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	自由利用、定例活動(工作、調理等)、小型特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会等)、大型特別行事(祭り・キャンプ等) ゆう杉並では中高生の自由な居場所としての環境を整え、多様な分野における自主的・主体的な活動を支援する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		児童館事業を通じ、児童の自主性、社会性、創造性を培い、健やかな成長を支援する。ゆう杉並の中高生の自由な居場所としての機能をさらに充実させるとともに、中高生が仲間との交流や自主企画事業の実施を通じ、自主性・社会性を育める場所とする。				
	活動指標名(式)	(1) 児童館年間延べ行事参加者数 (2) ゆう杉並の講座・講演会開催回数及び自主企画実施回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 行事参加率(年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用数) (2) ゆう杉並の講座・講演会参加者数及び自主企画参加者数				
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	/		
			実績		計画		計画	22年度				
	活動指標(1)	人	246,325		250,000		284,000	288,000	98.0			
	活動指標(2)	回	414		450		450	450	98.0			
成果指標(1)	%	38		40		27	30	90.0				
成果指標(2)	人	5,347		4,800		6,108	5,000	122.2				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	28,361		29,640		27,663	29,571	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0	0				
	(内) 委託費	千円	1,539		1,185		1,181	728				
	職員数(常勤 非常勤)	人	74.92	31.06	76.70	28.72	96.50	67.30			90.64	68.30
	人件費	千円	678,775		701,038		882,010	828,450				
	非常勤職員分	千円	87,900		79,554		186,421	189,191				
	総事業費 + +	千円	795,036		810,232		1,096,094	1,047,212				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	3,228		3,241		3,884	3,687				
	財源	千円										
	受益者負担分	千円										
国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +	千円	0		0		0	0					
差引: 一般財源 -	千円	795,036		810,232		1,096,094	1,047,212					
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	行事・定例活動		10,765	回	22,443							
	センター各種講座・自主企画事業		441	回	4,652							
	ノーマライゼーション事業		529	回	470							
	地域中・高生委員会活動		102	回	96							
	その他 ()				2							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 357 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	112.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	98.0	19年度予算 執行率%	93.3

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	児童館等のあり方検討会作業部会報告書を作成し各児童館に配布し、全館長対象に目指すべき方向の説明を行った。具体化推進委員会の下に人材育成検討部会、マニュアル作成部会を設置し、研修体系の見直しや運営方針及び運営マニュアルを作成した。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館=18歳未満児童数(1月1日現在):昭和61年=98,222人、平成12年=62,023人、平成19年=59,402人 ゆう杉並は平成9年9月開設以来9年間、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は5.8~6.7万人前後で推移している。19年度は、18年度と比較して中学生が9%増え高校生は10%減った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子どもの安全を脅かす事件の多発により、保護者の不安感が高まっており、子どもの安全・安心して過ごせる居場所として児童館への評価は高い。児童館での預かりを希望する声もある。ゆう杉並に対しては「これからも変わらずにずっとあってほしい」「新しい出会いや目標が見つかる」「気持ちを理解してくれる場所」「交通の便が悪い」「今まで知らなかった」等の声が聞かれた。
	今後の予測	問題を抱えている子どもだけでなく、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となり、虐待や養育困難家庭への対応が求められる。ゆう杉並の中高校生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての役割は、今後も増していく。とりわけ、自主グループの育成や自主企画支援の強化が求められる。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者へのケアについて、多様な中・高校生の受け入れが可能な数少ない社会的施設として、その期待が高まるものと予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中高生事業等年々充実度を増している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 現状の事業費でも、事業内容を工夫し成果を向上させることができる。 理由または具体的内容: 課内研修、担当者会での実践交流による情報交換や、運営マニュアルの活用により、事業内容を見直し、より効果的な内容に改善していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行事の中で参加者に利益が還元されるものは一部受益者負担を導入している。利用対象が18歳未満であり、児童館の利用の主体は小学生であることから、今以上の受益者負担は困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: ニーズは多様化、増大しており、一定の事業費が必要である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やNPO、のボランティア、地域の子育て支援グループの協力により実施されている。今後は地域の子どもと子育てを醸成していく観点から、より地域の区民・NPOの参画を進め、協働で児童館を運営していく方向である。
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 放課後の子どもの居場所作りの再構築 年齢ごとのニーズや施設の状況に応じた特色ある運営の推進 地域の子育て支援の拠点としての機能強化 協働等の推進とコーディネート機能の強化。 ゆう杉並においては 高校生の利用増及び登録グループ数の増加。個別の課題を抱える中高生支援を関連機関と連携し進める	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校や地域のさまざまな取り組みとの連携 専用スペースの整備や職員のスキルアップ 1小学校区に1児童館ある利点を活かしたネットワーク拠点としての機能強化。 児童館を中心とした子育て支援全体の企画運営のほか、子育てコーディネーターとしての役割強化 中高生の情報収集方法の工夫。ホームページを充実。直接的なPRの機会を増やす。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 各館の特色ある運営のため、そのサービス対象(乳幼児、障害児、中・高校生)にあわせた施設整備が必要であり、その費用がかかる。 ゆう杉並では各種講座・講習の見直しを進めている一方で自主企画事業数の増加見られるため。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター・児童館の維持、管理		20年度予算コード	2	整理番号	360	枝番号	
担当部課名	保健福祉部児童青少年課		コード	092701	昨年度 整理番号	429の一部			
係名	管理係		連絡先 電話番号	4402					
上位施策名		No	28		子どもの育成環境の整備				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸し出し、事故対応		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） ・適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とする。 ・運営に中高生の意見等を反映させる。 ・センター及び児童館職員の資質を向上させる。					
	活動指標名(式)	(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一日あたり平均利用者数 = 利用者数 ÷ 開館日数 (2) 年間修繕件数(センター及び児童館)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画 実績		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	1,421,329	1,430,000	1,412,164	1,430,000	1,430,000	98.8	
	活動指標(2)	日	13,822	13,927	13,878	13,927	13,917	99.7	
	成果指標(1)	人	103	105	115	105	105	109.5	
成果指標(2)	件	561	490	400	490	343	116.6		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	288,069	287,147	275,234	279,643	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	137,896	145,593	145,340	146,566			
	職員数(常勤 非常勤)	人	46.70 19.30	46.03 17.86	26.45 4.10	24.88 4.10	財源の受益者負担分は以下のとおり。 敷地使用料 光熱水費使用者負担		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	423,102	420,714	241,753			227,403
		非常勤職員分	千円	54,619	49,472	11,357			11,357
	総事業費 + +	千円	765,790	757,333	528,344	518,403			
	単位あたりコスト(-) ÷	円	539	530	374	363			
	財源	受益者負担分	千円	292	1,159	1,137			838
		国・都等からの支出金	千円	2,010	0	1,181			0
特定財源計 +		千円	2,302	1,159	2,318	838			
差引: 一般財源 -		千円	763,488	756,174	526,026	517,565			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.2	0.2	0.2				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	施設管理費(委託)		49	施設	139,529				
	施設修繕費		49	施設	38,120				
	その他 ()				97,585				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 360 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.6	19年度予算 執行率%	95.9
		設備保守管理契約落札差金及び実績による残が発生した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		障害児、乳幼児親子の利用しやすい環境整備を目標とし、空調機を設置(18年度:4館 19年度:5館 20年度:1館)するとともに各室の整備を行った。20年度以降も計画的に設置、整備していく予定である。 また、学童クラブの登録制への移行に対応するため、各室の育成室への転用が行われており、こちらの施設整備も急務である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けている。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められている。					
	今後の予測	センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要である。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 施設、設備の老朽化により多くの箇所不具合が生じている。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 設置から30年以上たっている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: 目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切である。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 施設の老朽化に伴い維持件費がかかってきている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 清掃業務や機械設備委託等で施設維持管理を行っている					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 建築年数の古い児童館は、障害児・乳幼児親子のための施設づくりがなされていないため、今後既成の施設の中で整備を進める形となる。施設全体が狭く、老朽化する中での整備であるため使用が少ない部屋を積極的に他室と兼用し、空いた部屋を効率的・計画的に改修する必要がある。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	施設の老朽化に伴い、維持経費が増える傾向にある。また、学童クラブの登録制や乳幼児親子、障害児の利用しやすい施設整備に伴い、育成室の拡張や空調機の設置が必要となってきた。そのため、建替えを含めた長期的な計画が必要となる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用の防止 <small>20年度予算コード</small>			022	整理番号	400	枝番号	
担当部課名	杉並保健所健康推進課		コード	150401	昨年度 整理番号	454			
係名	健康推進係		連絡先 電話番号	4524					
上位施策名		No	28		子どもの育成環境の整備				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		17 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <small>政策番号</small> <small>施策番号</small> <small>事業コード</small> <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 全区民、とりわけ未成年者とその保護者		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	飲酒・喫煙・薬物の乱用防止を推進するため、未成年者の喫煙防止ポスター・標語を募集し、表彰をおこなう。また、普及啓発のためにポスターの掲示やパンフレットの配布、外部講師による講演会を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 未成年者・保護者および関係者に対して、飲酒・喫煙防止の普及・啓発を行い、未成年者が飲酒・喫煙をしない。					
	活動指標名(式)	(1) 未成年者の喫煙防止ポスター・標語の応募数 (2) 講演会参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 中学生の喫煙経験がある割合 (2) 中学生の飲酒経験がある割合					
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%
			実績		計画		計画	22年度	
指標	活動指標(1)		点	271	270	534	500	500	106.8
	活動指標(2)		%	370	150	179	150	150	119.3
	成果指標(1)		%		8	6		0	
	成果指標(2)		%		41	42		0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,267	1,303	1,108	849	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成18年度未提出だったため、新たに作成。	
	(内) 投資的経費等		千円						
	(内) 委託費		千円						
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.50 0.25	0.40 0.05	0.34 0.10	0.34 0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,530	3,656	3,108	3,108	
		非常勤職員分		千円	708	139	277	277	
	総事業費 + +		千円	7,505	5,098	4,493	4,234		
	単位あたりコスト(-)÷		円	27,694	18,881	8,414	8,468		
	財源	受益者負担分		千円					
		国・都等からの支出金		千円				424	
特定財源計 +		千円	0	0	0	424			
差引: 一般財源 -		千円	7,505	5,098	4,493	3,810			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)
		未成年者の喫煙防止標語・ポスターの募集および普及・啓発用ポスター作成配布					15,500	枚	489
		未成年者の飲酒・薬物防止に関する講演会等の開催					1	回	65
		未成年者の飲酒・薬物防止に関する啓発用ティッシュペーパー等の配布					3,000	個	554
		その他 ()							0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 400 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	197.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	119.3	19年度予算 執行率%	85.0
	普及・啓発用ポスター印刷費が安価であった。また、講演会が1回しか開催できなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	19年度から青少年にとっての良好な環境づくりを行うため、関係課および地域団体と協働し、「未成年飲酒・喫煙防止キャンペーン」を実施した。健康推進課で実施するポスター作成が比較的安価で可能なこと、教材用副読本等の活用が少ないこと等から予算を減額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	未成年者への飲酒・喫煙については、対面販売等では年齢を確認するなど業界の自主規制がこの数年大きく進んできている。また、未成年者のタバコの購入を抑制するため、平成20年度から成人識別カードが導入された。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	19年度に実施した区内中学1、3年生を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査の結果から、喫煙経験率は平成17年度に比較すると低下しており、特に、1年から3年に進級する期間に喫煙の経験は、ほとんど増えていない。また、全国と比較しても喫煙率は低くなっている。				
	今後の予測	今後、更に未成年者のタバコ・飲酒の購入に関しては業界や地域でも規制が強化されると予測される。一方、以前に比較して薬物が身近で安易に手に入る状況があるため、今後とも地域全体で見守る環境作りが必要となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 児童・生徒・保護者および学校関係者に対し普及・啓発を行うことで、未成年の飲酒・喫煙防止に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 学校関係者と連携し、生徒・保護者・関係者に対し、防煙に対する知識の普及を促進する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民に対する普及・啓発事業のため受益者負担になじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担や実施方法の変更がないため難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 青少年の良好な環境整備として、関係各課および地域団体等と協力し、「未成年飲酒・喫煙防止キャンペーン」を実施している。キャンペーン期間中に普及・啓発として講演会やポスター・標語の展示等をあわせて行っている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 関係各課、地域団体と協働したキャンペーンの一部を担当する。 教育委員会等と連携し、飲酒・喫煙・薬物防止の視点を取り入れた健康教育が積極的に実施されるような支援や、保護者・関係者への普及啓発を実施する。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	中学1年および3年生に対する意識調査を実施する。